

2025年12月25日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミア市場

野村グループ100周年記念事業
「野村ウェルグロウイング・インスティテュート」を設立
～「豊かな社会」実現に向け、次の100年の価値創造に挑む～

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎)は、本日創立100周年を迎えるにあたり、次の100年の価値創造を支える基盤の一つとして「野村ウェルグロウイング・インスティテュート」(以下「本インスティテュート」)を設立します。

「ウェルグロウイング」は「一人ひとりが自分らしく学び、よりよく成長し続けること」を表す新しい理念・考え方であり、本インスティテュートは、人々が生涯にわたり挑戦と成長を続けられる社会基盤の構築をめざします。

■設立の背景と目的

野村グループは創立以来、金融資本市場を通じて社会やステークホルダーの皆様の発展に貢献すべく、挑戦を重ね、成長への情熱をもって変化し続けてきました。

2024年4月には、グループパーパス「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」を策定しました。また、今年度の「Nomura Report 2025」では、「豊かな社会」を「あらゆる人が、将来への希望を持ち、安心して質の高い生活を送れる社会」「人・資本・知のつながりがイノベーションを生み、誰もが挑戦・成長できる社会」と具体化しています。

22世紀に向け、人々の生活は、AI・技術進展によって変化し、仕事以外の時間が増加することや、健康長寿であることの重要性、個人の幸せの追求がさらに高まることが考えられる中、こうした「豊かな社会」の実現には、ウェルグロウイングの理念が重要です。「学び」「つながり」、そして人の営みの基盤である「衣・食・住」の領域を当初の重点テーマに、グループパーパス実践の一環として社会貢献活動、寄付、研究、事業開発、スタートアップ企業への自己資金による投資などを統合的に推進するため、本インスティテュートを設立します。

■重点テーマ

設立初期の2026年度はまず以下に取り組み、中長期的に業務領域を拡大していきます。

- (1) 学び :金融経済教育の基盤強化
- (2) つながり :寄付・社会貢献活動
- (3) 衣・食・住:サステナブル社会共創投資・事業開発・テクノロジー振興

以上